



芦北町議会だより

うたせ

第82号

令和7年
11月4日発行



I ♥ Fes. 文化祭 in 海浦集学校 (令和7年10月12日)

- 令和7年9月定例会 P2
- 令和6年度決算の状況 P3
- 委員長報告 P4~9
- 一般質問 P10~12
- 議案の審議結果 P13
- 議員視察研修報告 P14~15
- 議会のうごき・ちょっといっぷく P16

9月定例会



9月定例会は、9月1日に招集され、11日までの11日間の会期で開催しました。

議案は、財政健全化判断比率などの報告、令和7年度一般会計補正予算や特別会計及び下水道事業会計補正予算など報告2件、認定6件、議案11件、陳情1件の合計20件が上程されました。

なお、令和6年度一般会計、特別会計、水道及び下水道事業会計の決算認定等については、各常任委員会に付託し、審議しました。

【決算審査等に伴う常任委員長報告は、4～9ページに、議案等の内容と審議結果は、13ページに掲載】

また、9月2日の一般質問に3人の議員が登壇し、町執行部の考えを質しました。
【一般質問の要約は、10～12ページに掲載】

主な一般会計 補正予算の 内 容

宅地嵩上安全確保事業負担金	150,000千円
建設機械等借上料	14,058千円
AIオンデマンド交通・公共ライドシェア実証運行委託料	9,826千円
御立岬公園費修繕料	8,524千円
くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業補助金	7,822千円



9月定例会最終日の11日木曜日には社会教育の一環として、内野小学校から6年生7人と随行の先生2人の合計9人が来庁しました。持参したノートを手元に真剣な眼差しで議会の様子を傍聴していました。

令和6年度決算の状況（全会計総額）

192億475万円を認定

◆一般会計、特別会計歳入歳出決算の総括

（単位：円）

会 計 名	歳入歳出予算額	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計	15,886,508,497	13,980,370,507	13,555,875,126
特 別 会 計 合 計	6,148,008,000	6,143,316,101	5,648,884,171
国民健康保険事業	3,035,815,000	2,814,109,056	2,660,295,649
介護保険事業	2,552,101,000	2,801,515,353	2,470,525,158
町有温泉事業	155,992,000	144,380,624	144,380,624
奨学資金貸付事業	24,100,000	27,154,072	20,060,000
後期高齢者医療事業	380,000,000	356,156,996	353,622,740
合 計	22,034,516,497	20,123,686,608	19,204,759,297

◆年度別財政指標の推移

（単位：％）

年 度	経常収支比率	財政力指数	実質公債費比率	実質収支比率
令和4年度	89.7	0.35	4.6	12.1
令和5年度	89.5	0.35	4.9	13.8
令和6年度	92.5	0.36	5.1	5.9
標準値	70～80％程度	1に近く1を超えるほど良い	18％未満	3～5％程度

◆芦北町水道事業決算報告書

（単位：円）

区 分	収入予算額	収入決算額	支出予算額	支出決算額
収益的収入及び支出	250,025,000	247,796,503	240,660,000	232,516,700
資本的収入及び支出	9,309,000	9,309,000	108,406,000	105,957,593

◆芦北町下水道事業決算報告書

・農業集落排水事業

（単位：円）

区 分	収入予算額	収入決算額	支出予算額	支出決算額
収益的収入及び支出	219,101,000	213,419,046	218,787,000	216,376,362
資本的収入及び支出	88,944,000	87,544,000	89,258,000	88,726,333

・生活排水処理事業

（単位：円）

区 分	収入予算額	収入決算額	支出予算額	支出決算額
収益的収入及び支出	79,564,000	73,709,805	79,142,000	73,810,693
資本的収入及び支出	9,947,000	9,947,000	10,369,000	9,987,048

総務厚生常任委員長報告

【令和6年度決算審査】

林田 耀宏



【令和6年度決算状況】

一般会計の歳入決算総額：139億8,037万507円（前年度比9億9,332万9,104円減）

歳出決算総額：135億5,587万5,126円（前年度比4億6,452万8,117円減）

財政指標は、経常収支比率は3.0ポイント増の92.5%、実質公債費比率は0.2ポイント増の5.1%となり、総合的に判断すると健全財政が保たれている。

一般会計予算

《総務課》

消防・防災対策など安全・安心なまちづくりに関する事業やDX推進、職員研修、町の情報発信事業のほか、令和6年能登半島地震で被災した石川県輪島市への災害対応業務支援などが行われている。

【主な事業】

- ・**消防・防災対策事業** 町民の生命・財産を災害から保護するため、防災訓練を通じた関係機関との連携強化や地区防災計画の作成支援等を実施。防災拠点センター整備の基本設計に着手、また地震時の通電火災防止のため町民が設置する感震ブレーカ購入への助成を実施。
- ・**財産管理事業** 町有林管理人の高齢化や後継者不足により水俣芦北森林組合が施業の中心であることから町有林管理人制度は令和6年度で廃止した。
- ・**DX関連** 芦北町DX推進方針に基づき、職員によるワーキングチームを組成し、デジタルツール活用による課題解決型研修を実施し、DX推進の基礎となる人材育成に取り組んだ。

【主な質疑応答】

質 職員採用試験で新たに実施した「SPI3(エス・ピー・アイ・スリー)」とは。また、5月の前期試験と9月の後期試験の2回実施した理由は。

答 民間企業で導入されている試験で能力検査と性格検査を実施するものであり、多くの受験者確保のために5月にSPI3による前期試験を実施。また、就職活動のルールとして高校生は9月中旬からしか採用試験を受験できないため、従来の共同試験を後期試験として実施した。

《企画財政課》

町総合戦略に基づく地方創生の推進、国際化国際交流の充実、人材育成、地域・民間団体の支援、公共交通機関の維持等に係る各種事業が実施された。また、今後8年間のまちづくりの指針となる「第三次芦北町総合計画」及び「第3期芦北町総合戦略」を策定。

【主な事業】

- ・**ふるさと応援寄附金事業** 寄付金額の見直しを行い受入額の増加に努めるとともに能登半島豪雨における被災自治体の代理寄付受付を実施。
- ・**国際化・国際交流事業** 英国派遣事業等により国際交流事業の活性化が図られたほか、国際交流員による国際理解教育事業を実施。
- ・**公共交通対策** 地方バス運行対策事業、ふれあいツクールバス運行事業を実施、また山間部の交通空白地帯の解消に向け予約型乗合いタクシー運行を実施。

【主な質疑応答】

質 ふれあいツクールバスの利用が減少傾向の理由は。

答 人口減少のほか、利用者の高齢化によりバス停まで歩いていけない等の問題が生じている。今後、新たな地域交通体系の確立に取り組みたい。

《税 務 課》

地方税法や関係法令等に基づき、町税の課税・徴収を厳正かつ公平に行い、自主財源の確保と滞納額の削減に努めている。

徴収については、コンビニでの収納やスマートフォンを利用したキャッシュレス納税を導入し、納税の利便性を高めるとともに、法令に基づき滞納処分を行い、収納率の向上を図られた。

【町税の収納状況】

- ・現年度分 調定額20億9,151万8,389円 収入額20億8,307万888円 収納率99.60%
- ・滞納繰越分 調定額2,332万3,172円 収入額826万9,316円 収納率35.46%
- ・現年分・滞納繰越分合計収納率98.89%（前年度比0.06%増）となり、徴収努力の成果が見られた。また、財産調査等の結果、196件の執行停止、127件の不納欠損処分が行われている。

【主な質疑応答】

質 令和2年7月豪雨災害の被災家屋に対する損耗減点補正率再適用とは。

答 修繕等が済んでいない家屋に、固定資産税の軽減措置の再適用するもの、令和6年度は7件の実績があった。

《会 計 室》

法令等に基づき、支出等の厳正な審査と適正な執行管理を行い、資金収支計画の精度の向上を図り、公金の安全かつ効果的な運用と円滑な資金調達をすることで健全な行財政運営の確保に努めた。

【主な質疑応答】

質 令和6年度の口座振替件数が減少している理由は。

答 下水道事業が企業会計に移行したことや保育料の無償化により件数が減となった。

《議会事務局》

議会費と監査委員費が執行され、ほとんどが経常的な経費である。

各常任委員会と災害復旧・復興対策調査特別委員会の継続調査、また議会運営委員会や全員協議会を定期的に実施。監査委員費では、例月現金出納検査、定期監査等を実施。

《福 祉 課》

総合計画に掲げる基本目標「地域で守り育てるまちづくり」を目指し、各事業で策定した計画を基に各種事業を実施。

【主な事業】

- ・**高齢者福祉事業** 高齢者が安心して在宅での生活が送れるよう、緊急通報体制整備事業など福祉サービスの提供による支援を実施。
- ・**障がい者福祉事業** 障がい者のニーズに配慮した障害福祉サービスの提供や日常生活及び社会生活に対する支援を実施。
- ・**児童及び母子・父子福祉事業** 18歳までの子ども医療費や保育園を利用する3歳から5歳までの副食費の無償化の継続に加え、新たに0歳から2歳児の保育料を町独自で無償化することで保育利用に係る費用の完全無償化を実施し、子どもの健全な育成と保護者への子育て支援が行われた。
- ・**社会福祉事業** 住み慣れた地域の中で、安心した生活を送れるような地域社会づくりを目指し、地域住民の支えあいによるまちづくりの推進が図られた。令和2年7月豪雨災害の被災者支援については、令和6年7月にすべての応急仮設住宅入居者が住まいの再建を果たされ、また女島ゆめもやい緑地仮設団地の現状復旧が完了した。

【主な質疑応答】

質 手話奉仕員養成研修の受講者数について。

答 水俣芦北圏域単位で毎年開催、本町では通算36人が受講し、受講後は手話ボランティアや手話通訳士の受講につながっている。

《健康増進課》

「あしたのために きたえよう 健康力！」をスローガンに、健康に関する各種事業を実施。

【主な事業】

- ・母子保健事業 こども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉のそれぞれの専門性を活かし、より連携を密に相談支援に取り組まれた。
- ・予防接種事業 子どもの定期接種や季節性インフルエンザなどの予防接種のほか帯状疱疹の発症及び後遺症の予防のため50歳以上を対象に帯状疱疹予防接種費用の助成が行われた。
- ・検診事業 健診受診者を増やし、生活習慣病やがんの早期発見・早期治療につなげることを目的に、各種健診の自己負担額を一律500円とするワンコイン検診が実施された。

【主な質疑応答】

質 帯状疱疹ワクチン接種が見込みより増加した理由は。

答 高齢化の進行に伴い罹患する人が増えたことやかかりつけ医からの接種勧奨があったことが考えられる。

《住民生活課》

環境対策に係る各種事業、清掃センター業務、住民基本台帳事務、国民年金事務等の法定受託事務が行われている。

【主な事業】

- ・環境対策事業 水俣病、防疫、ごみ処理、不法投棄、生活環境などの各種対策に取り組んだ。ごみ処理対策では分別の徹底によりごみの減量化に努めた。「ボトル to ボトル」水平リサイクルに関する協定を締結し、リサイクル意識の向上、循環型社会の形成を図られた。
- ・戸籍住民基本台帳事務 個人番号制度に基づきマイナンバーカードを利用した「書かない窓口」を導入し、住民の利便性の向上に努めた。

【主な質疑応答】

質 不法投棄について、町や警察が指導した件数は。

答 不法投棄の苦情は11件、うち警察への通報は3件。軽微なもので原因者が特定できた3件は職員が指導を行った。

《特別会計予算》

《国民健康保険事業特別会計》

被保険者の健康管理と疾病の早期発見、早期治療を目的に人間ドックの助成を行い、医療費の適正化に取り組まれた。

【主な質疑応答】

質 健診の受診率について。

答 本町の受診率は県内でも下位にあるため、受診率を上げる方策を検討したい。

《介護保険事業特別会計》

介護や支援の必要な方に対する適切な保険給付や食の自立支援事業の介護予防事業・日常生活支援総合事業を実施。

【主な質疑応答】

質 要介護3以上の居宅介護が40%であるが、今後は推進するのか。

答 医療機関や介護従事者と連携し在宅での介護を推進しており、今後情報など収集し体制を検討していく。

《後期高齢者医療事業特別会計》

熊本県後期高齢者医療広域連合が保険者として被保険者認定、保険料率の決定、医療給付を行っており、町では、申請や相談等の窓口業務及び保険料の徴収等を行っている。

【主な質疑応答】

質 保険料の特別徴収の条件は。

答 介護保険料が特別徴収されていること、年金が18万円以上であること、介護保険料とあわせた保険料が年金額の1/2を超えないことが条件。

建設経済文教常任委員長報告

【令和6年度 決算審査】

草野 安道



一般会計予算

《建設課》

令和2年7月豪雨による道路や河川の公共土木災害復旧事業を最優先で実施。また、町産材を活用した木造2階建ての地域優良賃貸住宅が完成し、若者や子育て世代向けの住宅を提供することで移住・定住の促進を図った。

【主な事業】

- **交通ネットワークの整備** 道路の修繕・舗装・側溝整備等の工事や橋梁の点検・補修を実施し、交通の利便性や安全性の向上を図った。
- **防災・災害対策** 河川改修設計や維持工事、各排水機場の修繕等の実施。また危険ブロック塀等安全確保支援事業や小災害復旧事業等を実施し、災害の未然防止に努めた。
- **町営住宅等の整備** 長寿命化計画の見直しや年次計画に基づくシロアリ駆除予防作業、経年劣化に伴う修繕工事等を実施し、安全で快適な居住環境の向上を図った。

【主な質疑応答】

質 老朽危険空家等除却促進事業の補助額について。

答 補助上限金額は50万円、一番低い補助金額は28万円。

《教育課》

芦北町教育立町の理念に基づき「知・徳・体」のバランスの取れた教育を行い、基礎学力の向上や情操教育・国際理解教育・情報化教育などを総合的に推進し、安心して学ぶことのできる教育環境の整備に努めている。

【主な事業】

- **学校施設整備事業** 田浦中学校屋上防水工事や田浦小学校手洗場改修工事等を実施、教育環境の向上及び施設の適切な維持管理を図った。
- **学校給食** 子どもを社会全体で育てる取組の一環として、学校給食費の完全無償化が引き続き実施、子育て環境の充実が図られている。

【主な質疑応答】

質 町内の児童・生徒の学力の状況は。

答 昨年の学力学習状況調査では、課題も見られたが、算数・数学では国の平均を上回った。

《商工観光課》

商工業の育成と振興については、引き続きプレミアム付き商品券に対する補助を実施し、町内における消費の活性化を図った。まつり等のイベントを商工会と連携して実施し、地域の振興に取り組んでいる。

【主な事業】

- **企業誘致** 株式会社テラプローブと設備増強に関する立地協定を締結。サテライトオフィスでは、お試しワーケーション体験事業等を実施。
- **観光振興** 御立岬公園や海浜総合公園等の観光PR、また御立岬ビーチサッカーフェスティバル等のイベントを開催し、町内外からの誘客を図った。
- **あしきたマリンパーク再整備事業** 熊本県と連携し、旧国民年金保養センター解体跡地広場整備工事を実施。

【主な質疑応答】

質 サテライトオフィスへの入居数、また移住の例は。

答 田浦・計石両方に6社が入居。社員が東京から芦北に移住した。

《スポーツ・文化振興課》

【主な事業】

- ・**スポーツの振興** 各種団体や競技者へ支援・補助を行い、団体の育成や競技力向上を図った。
- ・**文化の振興** 各種団体等への支援や補助、また文化祭・文化講演会等を開催し、町内における文化芸術活動の振興を図る。
- ・**星野富弘美術館** 作品展示や詩画公募展及び町内外での出前講座を行い、芸術文化の発展と「心の教育」に寄与した。
- ・**生涯学習** 生き生き大学・ワークショップ等が開催され、参加者の自己研鑽と生きがいに寄与した。
- ・**青少年の健全育成** 放課後子ども教室や子ども広場の運営により、子どもたちの安全で安心な活動拠点づくりに努めた。また、演奏家派遣アウトリーチ事業により、児童たちに生の演奏を届け、心豊かな子どもの育成が図られた。

【主な質疑応答】

質 佐敷東の城跡の今後の調査について。

答 昨年度までの協議や調査を踏まえ、令和7年度から8年度に発掘調査を実施する。

《上下水道課》

【主な事業】

- ・**浄化槽設置費助成事業** 16基の新規合併浄化槽設置に対し助成、衛生的で快適な住環境の確保を図った。

【主な質疑応答】

質 浄化槽等の普及について。

答 令和6年度末で、町内の水洗化率は約90%である。

《農林水産課》

【主な事業】

- ・**農業の振興** 果樹優良品種の苗木導入やハウス新設や園内道整備などの果樹振興対策事業及び素牛購入支援、家畜伝染病予防対策支援などの畜産振興対策事業等を実施し、農家の所得向上や品質向上が図られた。
- ・**有害鳥獣被害対策** 防護柵の設置、わな免許取得及び箱わな等の購入に対する助成、また猟友会芦北支部に助成を行い通年での有害鳥獣駆除も実施。令和6年度の捕獲実績、イノシシ1,638頭、シカ2,323頭、アナグマ176頭。
- ・**林業の振興** 利用期に達した人工林の間伐や皆伐跡地の再造林支援、町産材を使用した住宅建築支援や木育の推進による需要拡大対策、林業後継者の育成などの事業に取り組んだ。
- ・**漁業の振興** 魚価の低迷、水産資源の減少、漁業者の高齢化や後継者不足など非常に厳しい状況が続く中、稼げる水産業づくりを目的に、地理的表示（GI）として登録された田浦銀太刀に対する支援を行うとともに、マガキの産地化に向けた取組やあさり貝の漁獲量増加のための被覆網による保護・管理の取組に対する支援を行った。
- ・**復旧・復興計画 農地等の復旧** 農地及び農業用施設災害復旧事業として、国の補助を受けて実施する災害復旧151件のうち、農地79件及び農業用施設64件が令和7年3月までに竣工。また、小規模な災害は、町単独事業により早期復旧が図られた。

【主な質疑応答】

質 近年の有害鳥獣による被害額はいくらか、また被害に対する助成はあるのか。

答 被害額は令和3年度1,580万円、令和4年度4,480万円、令和5年度4,300万円、被害に対する支援はないが、被害防止対策として防護柵等の補助を行っている。

《特別会計予算》

《町有温泉事業特別会計》

機器設備の維持・修繕を行い、安全・安心な施設運営に取り組んだ。令和6年度の総入浴者数は、前年度比93.2%の19万3,918人。

【主な質疑応答】

質 無料入浴券の利用者はどれくらいか。

答 無料入浴券は高齢者と障がい者の利用があり、合わせて全体利用者の5%である。

《奨学資金貸付事業特別会計》

高校生や大学生等32人へ奨学資金貸付を実施、町内の修学困難者へ便宜を図り、社会的有能な人材の育成に寄与した。

《公営企業会計》

《水道事業会計》

町内8カ所の配水管布設替工事や花岡浄水場の送水ポンプ修繕工事が実施、また老朽化した機械設備の更新や配水管取替を計画的に進め、水道水の安定供給に努めている。令和6年度の未処分利益剰余金3億4,669万2,450円のうち1億9千万円を処分する。

【主な質疑応答】

質 水道管の布設替えの進捗状況は。

答 管路の総延長約111kmに対し、約13.8kmの布設替えが終了。

《下水道事業会計》

★農業集落排水事業

農業集落排水への新規接続が12件、水洗化率は94.8%。施設の長寿命化と機能保全対策のため、芦北地区農業集落排水処理施設の原水ポンプや中継ポンプ配管修繕工事等を実施し、適切な施設管理に努めている。

★生活排水処理事業

田浦地区及び湯南団地等の浄化槽維持管理を行い、浄化槽の処理状態及び放流水の水質状況に合わせた適正な管理を行っている。

【主な質疑応答】

質 農業集落排水処理施設の処理水への混水はあるのか。

答 梅雨時期など雨の多い時期は不明水の流入がある。



令和6年度に完成した友田団地(湯浦)

一般質問(要約)

農作業受託組織の支援 強化で農地・産地維持を!



楠原清照議員

質 それいゆアグリなどの農作業受託組織の支援をどのように考えているのか。

答 竹崎町長

産地維持、持続可能な農業を維持する上で必要不可欠な存在と認識しており、省力化のための機械導入支援や農家負担軽減のため人件費助成を行っている。今後もJA等関係団体と町の連携を深め支援対策の更なる拡充を検討する。

答 福田農林水産課長

受託組織支援では、県補助金を活用し農業機械購入を支援、それいゆアグリ利用の場合1時間1,750円の受託料のうち535円を補助している。また受託作業料2,424万3,950円に対し650万2,100円を交付している。今後も人材確保対

策、農家負担軽減対策を検討していく。

質 芦北高校をみんなで応援・支援し存続させよう!

芦北高校に対する支援の現状等はどうなっているのか。

答 竹崎町長

県立高校ではなく「町立芦北高校」という思いで引き続き支援を実施していく。

答 田代企画財政課長

令和6年度に、概ね10年先を見据えた県立高校のあり方について設置された「県立高等学校あり方検討会」の議論において県立高校再編は示されていない。支援は「芦北町芦北高校総合支援事業補助金交付要綱」に基づき実施している。

(まとめ)

- ①農作業受託組織の育成と機能強化を!
- ②やる気のある農家や後継者のいる農家に対する集中的な支援強化を!
- ③芦北型産地維持、農地維持システムの構築を!
- ④それいゆアグリ第三セクター化等思い切った検討を!
- ⑤将来に明るい希望の光が見える農業農村を!

(表1) 芦北高校総合支援事業の概要

- 【生徒数 (R7年度)】 農業科 68 名・林業科 85 名・福祉課 49 名・計 202 名 (うち水俣芦北地区以外 44 名)
- 【生徒数の推移】 (定員 360 名) R2 年度 213 名・R3 年度 238 名・R4 年度 231 名・R5 年度 189 名・R6 年度 193 名
- 【生徒に対する支援】 教科書代・被服代・入学金・通学費・下宿費
- 【学校に対する支援】 教育環境整備・産学官連携活動
- 【その他の支援】 初年度の平成 28 年度には、制服デザイン費・教室へのエアコン設置補助
- 【令和 6 年度支援実績額】 1,460 万円
- 【H28～R6 までの 9 年間の支援実績総額】 1 億 3,600 万円
- 【これからの支援の方向性】 R7 年度入学者から「地域みらい留学制度」活用 (3 名入学)

- (まとめ)
- ①「地域みらい留学制度」を積極活用し全国から生徒を呼び込もう!
 - ② 芦北高校はわが町の文化にとって貴重な存在という共通認識を!
 - ③ 町民みんなが芦北高校に関心をもち、協力し、交流し、温かく見守ろう!
 - ④ 町民みんなが「芦高愛」を持とう!



百田翔吾議員

一般質問(要約)

学校体育館に 空調設備の設置を!

質 行政の対応力の向上と町民の危機管理意識の高まりが、地域の安全・安心を支える基盤になる。今後の

町民の危機管理意識の向上を!

空調設備の設置の早期実現に向け、先例自治体への視察などによる情報収集を行い、機種を選定や設置費用の試算などの検討を進めている。国も学校体育館等への空調設備設置に向けた支援を進めており、災害時の避難所として活用される学校体育館等への空調設備設置を加速化させ、令和17年度までに設置率95%を目指す方針が示されている。この国の補助制度を最大限に活用し、財源の確保に努め、計画的な設置を進めていく。

答

岩田教育長

質 学校体育館の空調設備の設置は、町の子どもたち、地域住民の命と健康を守るためには必要不可欠の取り組みであると考ええる。酷暑が続く近年、教育環境の改善及び防災拠点として活用するため、学校体育館の空調設備の設置の考えはないか。

さらに、本年4月に着任の防災監を中心に、小学校や自主防災組織、行政区等に対しての防災講話により、地区内の危険箇所の確認や自助、互助の重要性を伝える活動を行っている。加えて、要配慮者利用施設の事業者等に対しては、避難確保計画の実効性確立のため、計画作成の支援と作成後の伴走支援も行っている。今後も積極的な取組により町民及び事業者等への防災意識の向上を図っていく。

答

池田総務課長

災害対応想定はされていると思うが、町民の危機管理意識の向上のためにどのような取組をされているのか。



4月から着任した橋本防災監

一般質問(要約)

デコポンの名産地としての 基盤作りを確立せよ!



宮尾秀行議員

我町を中心とする芦北地方は昭和20年代からの甘夏産業で活気付いたが、近年は異常気象で露地栽培での経営が大変厳しい。今後はデコポンの施設栽培が費用と利益を考えた時に最適だと考える。

質

新たな土地を求め、デコポン作りに挑戦する若者が成功するように話し合いは出来ているのか、又今後の営農団地の開発はどうするのか。

答

竹崎町長

これまで築き上げられたマルタブランドの信頼を守って行くため、担い手対策、ハウス整備、基盤整備に取り組んでいる。今後県、JAなどの関連団体と連携を強化し、産地の維持発展に繋がる取組を積極的に進めていく。

答

福田農林水産課長

現在、入植者、JA、農林水産課の三者で事業計画の話し合いを行っている。今後の団地計画は、小規模な基盤整備を基本とし、営農が早く開始できるようにスピード感をもって進める。

質

中古ハウスの利用は、今後施設栽培を軌道に乗せる最適な手段である。より取り組みやすくするため、借り受けた後1回だけに限り天井ボリの被覆資材への助成があれば助かるがどうか。

答

福田農林水産課長

中古ハウスの移設には県の支援事業がある。修理費用も町の単独事業がある。ボリの張り替えは消耗品としての位置付けで支援の対象ではなかったが、生産者の声や需要の必要性をしっかりと考え、今後対応していく。



ハウスデコポン

質

旧田浦町、合併後の芦北町も甘夏、デコポンがなかったらどうなっていたかと考える。炎天下で生産に頑張る農業者は日本の宝でもある。農業に関する認識を聞きたい。

答

竹崎町長

農は命の根本だ。縄文時代からずっと我々の命を支えてきた。甘夏、デコポンがなかったらと想起すると特産品は存在したのか、典型的な廃れた中山間地になっていたのではと考える。当地域は、甘夏・デコポンで確固たる地位を築いている。それを守りながら、万般の作物の振興は必要なのでしっかりと取り組んでいく。

答

福田農林水産課長

現在、ハウス新設、巻上げ機、骨組みの修繕等の様々な支援を行っている。資材費や付帯設備についても助成している。今後は新規就農者が施設栽培に参入しやすくする為、中古ハウスの購入支援等の検討を進める。

質

「八幡の元」の現状は災害土で埋めてある。果樹に適した土を客土することとは、一番重要なポイントである。共同作業で出来るように表土を確保できないか。

答

福田農林水産課長

表土は令和2年災の農地復旧事業などでも多く利用し農

家からの問い合わせも多数あっている。表土の確保の必要性は理解している。県とも連携し良質な表土が確保された時は、町有地などにストック出来る仮置場などを考えている。農家の利用しやすい表土の確保に今後も取り組んでいく。

質

県内の他産地はデコポンの施設栽培が減少して行く中、芦北地方は少しずつ増えている。価格も県内トップであり生産者がいかに努力しているかが伺える。ただ近年、資材などが高騰し、特に加温ハウスの建設費は20年前に比べ3倍になっている。しかし、それで手をこまねいていては産地の発展はない。自己負担額が半分程になるよう努力してほしいが。

答

福田農林水産課長

以前はハウスリース事業があり、ハウスを新規に始める農家には大変有効な事業だったが、現在は類似の事業がない。今後事業の必要性を国・県に訴え、新規事業の設立に向け、働きかけを続けていく。

令和7年 第5回芦北町議会(9月定例会)審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
報告第6号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告	報 告
報告第7号	芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価結果の報告について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく報告	
認定第1号	令和6年度芦北町一般会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、4～10に掲載	可 決 (全会一致)
認定第2号	令和6年度芦北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、6に掲載	
認定第3号	令和6年度芦北町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、5～6に掲載	
認定第4号	令和6年度芦北町有温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、8に掲載	
認定第5号	令和6年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、9に掲載	
認定第6号	令和6年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	概要等は、P 3、6に掲載	
議案第36号	令和6年度芦北町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	概要等は、P 3、8に掲載	可決及び認定 (全会一致)
議案第37号	令和6年度芦北町下水道事業会計決算の認定について	概要等は、P 3、8に掲載	認 定 (全会一致)
議案第38号	令和7年度芦北町一般会計補正予算（第4号）	概要等は、P 2に掲載	可 決 (全会一致)
議案第39号	令和7年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第40号	令和7年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第41号	令和7年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第42号	令和7年度芦北町下水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第43号	芦北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び芦北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院規則の一部改正及び地方公務員の育児休業等に関する法律（平成3年法律第110号）の一部改正に伴う改正	
議案第44号	芦北町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国の情報システム標準化に伴う改正	
議案第45号	財産の取得について	災害時用備蓄用品（トイレ関係）購入	
議案第46号	財産の取得について	災害時用備蓄用品（避難所環境整備関係）購入	
陳情第2号	水俣病の早期解決を国へ要望する意見書の採択を求める陳情書		

議員視察研修報告

～地域活性化・国際交流の推進～

9月12日（金）から3日間の日程で台湾において視察研修を行いました。

◆肥後銀行 台北駐在員事務所訪問 ～台北市～

肥後銀行台北駐在員事務所は、2023年6月に開設され、市場調査、販路マッチング支援、日台双方の企業進出支援を主要業務とされています。

本島知明所長より、①台湾基礎情報、②台湾の歴史、③経済貿易情報、④半導体動向、⑤意識調査等について説明を受けました。



【説明の主な内容】

- ▶台湾では公務員、国会議員、企業取締役における女性が占める割合が日本より高く、晩婚化や未婚率の増加により出生率の低下が社会問題となっている。
- ▶日本企業の対台進出は製造業が最多であるが、近年は小売やサービス業の進出が増加している。また、台湾企業による対日投資は製造業、卸売業、不動産業等が中心である。
- ▶台湾向け「日本産農林水産物・食品輸出」は全体の3位で増加傾向にある。
- ▶肥後銀行が実施したアンケートによると、TSMCが熊本へ進出したことを87.5%が知っており、TSMCはどのような存在かとの問いに対しては、「世界を代表する企業」「神のような存在」「半導体業界で最強の企業」などの回答があった。

【主な質疑】

- 質** 熊本から台湾への企業進出、台湾から日本、熊本への企業進出の状況はどうか。
- 答** 熊本から台湾への進出は、現在15社程度である。台湾からは100社程度が九州（福岡・熊本など）へ進出しているが、最近は減少傾向にある。TSMCの第2工場の状況の様子見といったところである。
- 質** 八代地域へのTSMC関連企業の進出の見通しはどうか。
- 答** 工場周辺への進出はあるが、八代地域への進出は時間がかかると思われる。

◆「總爺和風文化祭」視察 ～台南市～

台南市で開催された「總爺和風文化祭」に葦北鉄砲隊が招待され演武を行うとのことで、開会式に出席し、文化祭会場を視察しました。

「總爺和風文化祭」は、台南市政府文化局主催で台南市民と日本との交流、理解の促進ならびに日本文化、観光及び特産品などの宣伝・販売、さらに台湾国内での日本の「日本国および県指定伝統工芸」に対する認知度の向上を目的に毎年開催されています。



今年度は熊本県をテーマに、葦北鉄砲隊の演武や手作り体験、肥後象嵌、山鹿灯籠、などの熊本県を代表する伝統工芸品の展示がありました。開会式には熊本県観光文化部の脇俊也部長や台南市の葉澤山副市長、台日文化友好交流基金会の郭貞慧榮譽理事長、李退之理事長等出席されており、意見交換を行いました。



◆「前金第一公有市場」視察 ～高雄市～

高雄市民が「市民の台所」として利用するこの市場は、肉や魚、野菜等の販売や食事を提供する露店がありました。

台湾では、共働き世帯が増え以前と比べて家庭で調理することが減り、市場の利用者も減少傾向にあるとのことでした。台湾は食料自給率が低く輸入に依存しており、日本からの台湾向け農林水産物・食品輸出は年々増加傾向にあります。



◆ま と め

台湾と日本は地理的・文化的に共通点も多く、歴史的な繋がりもあり重要な関係性を築いてきています。また、熊本県においては、菊陽町にT S M Cの工場が進出しており、その影響により県北地域は様々な分野で台湾との結びつきが強くなっています。

芦北町においては経済・文化・観光・教育など幅広い分野で台湾との関係性を発展させることは町の地域活性化に非常に有益であることから、町議会においても、町執行部と協力して地域活性化、国際交流の推進に取り組んでいきます。

福岡県大刀洗町議会建設経済委員会来町

翌31日には「道の駅たのうら」を視察され、防災拠点としての施設の役割や防災倉庫の状況を視察されました。



7月30日に福岡県大刀洗町議会の建設経済委員会の議員の皆さんが自主防災組織の取組等の視察のため来町されました。昨年2月に本町議会の広報委員会が、全国の広報コンクールで毎年入賞している大刀洗町議会の広報委員会を視察したことがきっかけで、今回は2日間の行程での来町となりました。

本町の総務課防災担当及び4月から勤務している橋本防災監が、令和2年7月豪雨災害の概要や日頃からの防災への取組状況を説明しました。



その後、球磨川流域の白石地区の被災状況等を視察しました。

令和7年度町村議会議員研修会

10月9日に第1回熊本県町村議会議員研修会がオンラインで開催されました。

元大和大学政治経済学部教授の田中富雄氏が、「これからの一般質問のあり方」と題して講演されました。

一般質問を行う際の作法やチェックポイント等について詳しく話をされ、今後の議員活動において非常に参考になるものでした。



オンライン研修の様子

： 議会のうごき ：

- 令和7年7月30日(木)～31日(金) 福岡県大刀洗町議会建設経済委員会視察研修来町
 8月 5日(火)～ 6日(水) 水俣芦北地域振興計画前期要望活動(東京都)
 8日(金) 熊本県町村議会議長会第2回理事会(オンライン)
 20日(水) 正副議長研修会(自治会館)
 26日(火) 議会運営委員会
 9月 1日(月) 9月定例会開会(議案審議)
 2日(火) 9月定例会(一般質問)
 3日(水)～4日(木)
 総務厚生常任委員会、建設経済文教常任委員会(決算審査)
 11日(木) 9月定例会閉会(委員長報告)、議会広報委員会
 12日(金)～14日(日) 町議会議員研修(台湾)
 10月 7日(火)～ 8日(水) 水俣芦北地域振興計画後期要望活動(東京都)
 9日(木) 町村議会議員研修会(オンライン)
 14日(火) 議会広報委員会
 23日(木)～24日(金) 理事・郡事務局長合同会議(玉東町役場)

次の定例会は
12月開催予定
です!!

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しております。

議会広報委員会

委員長	委員	委員長	委員
楠原 清照	川尻 成美	宮尾 秀行	寺本 順一
林田 耀宏	林田 耀宏	林田 耀宏	林田 耀宏

11月になり、朝晩はようやく過ごしやすくなってきました。今年の夏も酷暑と災害に見舞われた夏でした。特にお盆に発生した豪雨災害では、県内各所に甚大な被害が発生し、被災された皆さまにはお見舞い申し上げます。

さて、芦北町議会では、年4回の本会議(定例会)が基本的に3月・6月・9月・12月に開かれます。

議会だよりもそれに合わせ議会の審査・調査等議会だよりとして掲載し、町民の皆様へ発行しております。

広報委員会6名で分担して作成しており、本町の皆様に議会活動が分かりやすく伝わるよう努力しております。

町民の皆様は議会活動を理解していただく為に工夫しておりますが、町民の声を伝えることも大事と考えます。

ご意見・ご要望をどしどしお伝えくだされば幸いです。

(川尻成美)

